

北九州地区労連ニュース

2017年8月号 No. 130

発行 北九州地区労働組合総連合
連絡先 北九州市小倉北区黄金1-4-9-207号
メール k_roren@ybb.ne.jp 093-921-0747
ホームページ http://www.geocities.jp/k_roren/



道下新事務局長が選出された新役員を代表して決意表明

福岡県労連28回定期大会でたたかう方針を確認 県労連事務局長に道下氏 現北九州地区労連事務局長を選出

福岡県労働組合総連合(福岡県労連)の第28回定期大会は、「つかみとろう！要求と組織の新たな前進、日本の未来。改憲と戦争する国づくしのNO！憲法が開く国へ。格差と貧困を是正し、暮らしの底上げ、地域活性化。」のスローガンを掲げ、8月6日(日)10時から、福岡市・第三博多倍成ビルで開催されました。定期大会冒頭に九州北部豪雨犠牲者になった被害者の方を悼み、参加者全員で黙祷をささげました。

北九州地区労連からは、永富議長など5人の代議員と傍聴者一人が参加しました。

江口県労連議長は、「安倍政権は、秘密保護法・戦争法・共謀罪など、憲法の基本原則・民意をないがしろにし、アメリカと一緒に戦争する国づくりに血道をあげ、労働法制の改悪で、労働者・国民、地域社会を犠牲にしたグローバル競争国家づくりの『二つの暴走』を強権的に加速させている。暴走を食い止めるためにも、大きな運動が必要だ。」と訴えました。

来賓として、全労連から岩橋副議長、福岡県弁護士会から甲斐田副会長が挨拶をされました。議案の提案は、経過報告、2016年度決算報告、2017年度予算(案)を小川事務局長、2017年度運動方針(案)、組織拡大3ヶ年計画(案)、規約改正(予備提案)までの議案が、小川事務局長、門馬事務局長から提



田村衆議院議員が忙しい中、駆け付けてくれました

が参加し、北九州からは澤山・西原代議員が、東洋食品不当解雇・未払い賃金請求事件、ツクイマタハラ裁判闘争で勝利したことを報告し、これまでの支援に感謝すると発言すると、大きな拍手が起りました。議案の採決は、すべて満場一致で採択されました。役員選挙では、新事務局長に現北九州地区労連の道下事務局長が選出され、J-M-T-U推薦幹事の小橋幹事にかわり、香川地本書記長が選出されました。大会は山下副議長の閉会の言葉の後、江口議長の団結カンパニーで締めくくられました。



すべての議案は、賛成多数で採択されました

雨あがりの

「ジーシー！」の声とともに、4人の孫がやってきた。顔がほころぶのも束の間、「貯金箱を作る」「漢字ドリルを持ってきた」「計算ドリルを持ってきた」と夏休みの宿題を出してくる。イチジクならぬ「じじじゅく(爺塾)」の始まりである。

夏休みも後半、今まで遊びまわってそろそろ宿題が気になり始めた子、宿題もほぼ終わりこれからいっぱい遊ぼうと思っている子、人それぞれの夏休みがあろう。

一方、安倍首相の夏と言えば、天皇が「深い反省」や「哀悼の意を表す」という言葉を語った戦没者追悼式で、5年連続「反省」や「哀悼の意」を語らない。靖国神社に代理人を通じて玉串料を奉納する。加えて、佐川理財局長が国税庁長官に栄転したことが記憶に新しいが、安倍昭恵夫人付きの谷氏をイタリア日本大使館の職員として異動させ「森友問題」隠しに走る。

宿題に取り組む孫達を見ながら、安倍首相はどんな子ども時代を送ったのだろうかと思ってしまう。(或)

平和の夏！ ゆるすな！戦争できる国づくり

原水爆禁止世界大会広島、長崎 核兵器のない世界を今こそ！

長崎は8月9日、72回目の原爆の日を迎えました。今回の原水禁世界大会は、7月に人類史上初めての核兵器禁止条約が採択されたことを力に、大きな盛り上がりを見せ国内外から7千人が参加しました。9日に行われた閉会総会では、7千人の参加者が舞台上で手をつなぎ、「折り鶴」「ウィ・シャル・オーバーカム」を大合唱し、会場には、核兵器禁止条約を力に核兵器廃絶へ歴史の新たな扉を開こうとの決意がみなぎりました。閉会総会は、世界大会・長崎決議「長崎からのよびかけ」を採択。「核兵器禁止条約に背を向け、9条改憲をもくろむ安倍政権を、市民と野党の共同の力で解散総選挙へと追い込みましょう」の一節に、ひととき大きな拍手が起りました。

日本は、国連で採択された核兵器禁止条約参加を！

長崎市主催の平和式典では、田上市長が「平和宣言」の中で、核兵器禁止条約は被爆者が長年積み重ねてきた努力がようやく形になった、と強調、条約の交渉会議に参加しなかった日本政府を、被爆地には到底理解できないと批判しました。そして、唯一の被爆国として一日も早い条約



核兵器の廃絶の思いを込めこぶしを上げる参加者

への参加をめざし、核の傘に依存する政策を見直すようにと訴えま

ここにこパースの 平和マラソンに11人が参加

7月23日(日)、スタッフ等を含め11人が参加して「第9回ここにこパースの平和マラソン」を開催しました。

この日は30度を超える真夏日でした。9時30分に門司港駅前をスタートしてから2キロずつ給水しながら、八幡東区の桃園運動場までの23キロを走りました。途中、八幡大空襲で約300人の市民が犠牲になった小伊藤山公園の慰霊碑の前で記念写真を取りました。



平和の願いをこめて23キロを走り終わって
八幡東区小伊藤山公園慰霊碑の前で記念写真

第35回反核平和マラソンを走って 熱烈な沿道の声援に感激

今年の第35回広島～長崎反核平和マラソンは、東北復興の支援を兼ねて開催しました。8月6日(日)の朝8時15分に広島平和公園で原爆投下時刻に黙祷をしてスタートしました。

今年の参加者は、北九州市職労・福岡市職労・広島市職労・長崎市従組・下松市職労・周南市職労・防府市職労・宇部市職労・唐津市職労・山口自治労連・山口県高教組・佐賀自治労連・北九州地区労連・全法務中国・全法務九州・新日本スポーツ連盟・全国ランニングセンター等の参加団体からランナーとスタ



参加者一同スタート前に記念写真

ッフを合わせて100名を超えました。また、北九州市長や広島市長・長崎市長・防府市長・下関市長・門司区長・福岡市長からメッセージ等をいただきました。

8月7日(月)の九州入りでは、門司区役所前や勝山公園等で北九州市職労や北九州地区労連の方に応援を頂きました。

今年は国連で核兵器禁止条約が圧倒的な賛成で採択された歴史的な夏となったせいか、沿道の声援がいつもより熱烈で、1万円もカンパをする方もいました。無事に完走して、長崎平和記念公園に8月8日(火)の18時にゴールしました。

九州北部豪雨 復旧支援続く



**福岡県労連 ボランティア共同センターを立ち上げ
ボランティアへの参加と
九州北部豪雨被害支援カンパへの協力を！**

8月11日金曜日、福岡県労連の「九州豪雨被害支援ボランティア」要請に応え、北九州地区労連の一員として参加しました。

当日は、天気も上々で現地のボランティアセンターに9時到着を目指して時半には、高速道路に乗りました。しかし、11日は山の日ということで祝日、この日からお盆休みが多いことなのか、高速道路は、大渋滞で1時間遅れでの到着となりました。

すぐに先発隊を追いかけ、なれない山道をボランティアセンターの人からの案内や地元の人にも道を聞き集場所の朝倉市杷木の本榎公民館を目指しましたが、途中橋が流木で

危険な状態となっていて渡れず先発隊にSOSを出し、迎えに来てもらいました。

やっと付いた現場では、家の中からの泥出しや畳などの搬出をしていました。

遅れた分を取り戻そうとすぐに泥出しやゴミの撤去などのお手伝いに取り掛かりました。

昼の休憩で、そこから少し山の方へ上がると絶句、川は元の形がわからないほど流木や岩が流れ込み、果樹園は破壊され、車は10台ほどがポロポロに、新しい家も壁がなくなっている光景に言葉を失いました。

また始まったばかりの復旧活動

被害にあった方は、「裏の小さな川があつという間に濁流となり死ぬかと思った」避難先の小学校の体育館の裏が川で、植えてあった桜の木が一本また一本と濁流に削られ、ここも危ないと他に避難した」と恐怖の体験を話してくれました。

風からも泥出しを3時までしたのですが、残念ながら生活できるまでの片付けはできませんでした。後で聞くとこの地域は、ずっと道路が寸断されていて、最近やっとボランティアが入れるようになったとのこと、もっともっと支援が必要です。

この日、福岡県労連の仲間は、福建労・自治労連・自交総連から約30人が参加し、ボランティア活動に汗を流しました。

帰りは、汗と汚れでドロドロとなった体を原鶴温泉でサッパリと流し、疲れも取れました。

帰りの国道沿いも果樹園が流木や大きな岩、泥などの被害にあっていました。家々も深刻な状況で復旧には、時間がかかりそうです。

福岡県労連は、さまざまな団体と協力し、原鶴温泉にボランティアの共同センターを立ち上げ、復興支援に取り組むことを決定しました。8月20日から3ヶ月間を予定しています。

北九州地区労連に結集する仲間の皆さん、ボランティアへの参加と九

州豪雨被害支援カンパへの協力をお願いします。
(投稿永富議長)



全教北九州の中村委員長が要請文を読み上げ要請

全教中央、全教北九州、教組共闘で北九州市に要請 子どもの生活及び教育条件の改善などについて要請 懇談

8月7日(月)、北九州市議会棟11会議室において、就・修学キャラバンの要請行動を行いました。このキャラバンは、2002年に東北ブロックの高校組織が自治体に要請行動を行ったことをきっかけに全国に広がりました。現在では高校生の就職だけでなく、広い意味での就学(学校に入る)・修学(学校で学ぶ)に関する要請行動となっています。九州ブロックでは、九州全県の自治体を四日間で回りました。要請行動は県に対して行っているのですが、北九州市には全教の組織があること、権限委譲で教育条件整備の大きな権限を政令市も持つことになったので、今年から北九州市に対して要請を行いました。全教のキャラバン隊だけでなく、市議会議員、地区労連、新婦人、北九州子どもと教育のために手をつなぐ会から計21名が参加しました。要請内容は多岐に渡っています。「子育て日本一」を標榜する北九州市の名に恥じぬよう、子どもたちのために教育条件整備・進路保障をしてほしいです。

労働法コラム 第43回

性同一性障害者に対する偏見をなくそう



黒崎合同法律事務所

東 敦子 弁護士

最近では、会社の上司が「結婚しないの?」と聞くこと自体、セクハラだという認識は浸透してきたように思いますが、未だに飲み会の席などで「A子さんほどの美人で仕事のできる人が結婚してないのはどうしてかなあ?もしかしてレスビアンとか?」と発言する人は少なくない印象です(ザンネンすぎる発言なのに本人は褒めているつもり・・・)。きちんと同性愛者だとカミングアウトした上で上司に抗議したいけれど昇進などで差別されるのではないか、同性のパートナーと生活しているのに家族手当がもらえないのはどうしてなのかなど悩みはつきません。

カミングアウトまでではないと決めた場合でも、結婚の予定等

昨年ごろから、弁護士会でLGBTに関する研修が増えてきました。レスビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダーの頭文字をとった、性的指向及び性自認における少数者を表す用語です。同性愛のパートナーがいる方の場合、夫婦であれば利用できる勤務先の福利厚生(住宅手当、育児や介護休暇など)の対象とならない場合が多いことが問題であり、身体上の性別と性自認が一致しない方の場合、就職活動に支障を来したり、就職した後もトイレや更衣室、服装など男女別に規定されていることについて困難を感じる人があったりします。



北九州地区労連 第29回定期大会を開催します

開催日	2017年 9月10日(日) 10時開会
ところ	小倉北区 毎日会館 5階 ホール
議題	① 2016年度経過報告 ② 2016年度財政報告 会計監査報告 ③ 2017年度運動方針(案) ④ 2017年度予算(案) ⑤ 2017年度役員選挙 など

を上司が尋ねること自体の違法性を指摘することは可能ですし、

同性愛者を理由とする差別的待遇も許されません。家族手当の法的な義務付けは難しくても、東京都渋谷区や世田谷区、三重県宝塚市、沖縄県那覇市など「パートナーシップ証明書」や「同宣誓書」を交付する自治体であれば、交渉に役立ちます(でも、まだ条例や制度のない自治体が多いです)。

もし、身近に会社の中で性的な問題で生きづらさを抱えている方がおられれば、どうしたいか、したくないかの意思を尊重して、一つでも問題が解消されていく手助けができればと思っています。

働きつづけることのできる職場環境の整備を！ 豊留組合員の職場復帰闘争に大きな支援の輪を

東洋食品(株)を相手に不当解雇撤回、未払賃金の支払い請求をしてきたかつてきた、澤山さんの不当解雇は、職場復帰はできませんでしたが、2017年3月に和解が成立し終結しました。また他3人の組合員の未払い賃金については、2017年7月11日に結審となりましたが、終了後和解協議が開かれ和解が成立し、たたかいは終結しました。

納得できる内容で解決

東洋食品で働く、豊留組合員が職場復帰に向けたたかつてお

ります。豊留組合員は職場のイジメでつつ病を発症し2017年3月より休職を余儀なくされ治療に専念して参りました。会社は2015年12月に豊留さんが労働組合に加入した途端、全体会議への参加の拒否や、些細なミスを追及し誓約書を何度も乱発しサインを強要するなど悪質なイジメを繰り返して行いました。

休職した職場では、店長から乱暴な口調で誓約書にサインする脅しの発言(レコーダー録音あり)やパート社員からみんなの前で役職(主任)を否定するような発言や嫌がらせをされたり、また会社弁護士、本部長に個室に押し込まれ些細なミスをしたことで書類にサインする

ように強要されたり、明らかに組合員に対する不当労働行為が行われています。

2017年8月4日(金)に職場復帰に向けての団体交渉が開催されました。また労働基準監督署は、休業期間の労災認定やパワハラについて会社に調査が入ると思われま

す。引き続き豊留さんへの支援をよろしく願います。



原告、弁護団、支援団体で、和解成立後笑顔で握手